

予算決算常任委員会総括質疑

◆会派自民◆



灰田昌典 委員



動画でチェック

◆照明灯のLED化推進費

Q その現状は。また調査、設計、施行、維持管理までの包括業務委託とは。

A 市所管の道路・公園照明灯のLED化率は14・1%と低い。包括業務委託とは、市が直接工事を発注するのでなく、包括的な業務を一括委託するもの。

Q 地域振興に貢献している地元企業の参入など受注機会の優遇措置を計るべきと思うが。執行部の前向きな検討に期待する。

A 市内事業者への育成も重要な要素で、プロポーザル募集要項、応募条件、評価基準等を検討、市内業者の参入を促す。

◆町内道路改良舗装費補助金

Q 近年の資材価格や人件費高騰の為見直しを計れ。

A 補助限度額の増減は、資材価格の上昇、今後の社会変化など注視しながら検討していく。



岡山晃宏 委員



動画でチェック

◆ひきこもり支援推進費

Q 今回設置されるひきこもり相談支援ステーションの概要は。

A 安心して相談できる環境を整備すると共に、コーディネーターがより良い生き方を一緒に考えていく支援体制を構築する。

Q ひきこもり支援コーディネーターとはどのような方か。

A ひきこもり状態の本人の特性に応じた相談対応ができる実務経験が豊富な専門職。

◆SDGs 未来都市推進費

Q V2H導入のメリットは。

A 車から家へ給電できる設備で非常用電源として災害対策に非常に有効である。

Q CEVへ補助してはどうか、また今後の取組は。

A 国や県の補助制度があり、本市ではV2Hの導入に絞って支援したい。ほかに経営モデル支援の補助率等の引き上げ、施設等の照明LED化等に取り組む。



東浩一 委員



動画でチェック

◆収入保険加入促進事業費

Q 農家の加入対象者、範囲は。

A 販売農家が対象で、青色申告が条件であり、販売収入が基準収入の9割を下回った場合、補填される。

Q 加入促進事業の内容は。

A 補償額の上限は、掛け捨ての保険料、事務費と合わせて1経営体当たり4万円。

Q 加入促進支援制度の継続も含めた考えは。

A 事業の継続は、国、県、JA小松市等と連携して進めたい。

◆尾小屋鉱山資料館周辺持続活性化調査費

Q 2、700万円の内容は。

A マインロードの補修対策工の検討や維持管理計画の策定を行う。

Q 周辺の持続活性化再整備は。

A 農山村創生室を新たに創設、魅力ある農山村エリアを創生していきたい。

◆自民党こまつ◆



吉村範明 委員



動画でチェック

◆妊産婦健診サポート費

Q 妊産婦タクシー助成内容と事業者選定は。

A 1回3、000円を上限に4回分助成。県タクシー協会加入の市内に事業所のある全てのタクシー会社、協力いただけるとの意向を確認している。

Q 市が防水シートカバーを助成しては。

A 今後、妊産婦の声やタクシー会社の意見なども聞きながら考えてまいりたい。

◆子ども・子育てパーソナルサポート費

Q 無痛分娩の助成制度を設けてはどうか。

A 厚生労働省では無痛分娩の安全な提供体制の整備に向けた取組を進めており、今後の国の動向を注視してまいりたい。



川崎順次 委員



動画でチェック

◆北陸新幹線小松駅開業プロモーション費について

Q プロモーションの目的は。広域連携は。100年に一度の契機、大胆にチャレンジを。

A 当市の認知度の向上が大事。全国発信のため大型プロモーション等戦略的に実施。県内の沿線都市が一体となり県内全線開業歓迎の取組を進める。

Q 7月26日の楽天イーグルス小松市冠試合は、楽天球場でどのように当市のPRをするのか。

A 公式戦の団体の冠タイトルがつけれられ、スタジアム内外で様々なPRをしていく。

Q 小松と東北の交流を深めるため、東北新幹線大宮駅で乗り換えなく仙台発小松福井行きの直便でつなぐことができるのか。

A プロ野球の試合に合わせた臨時列車や新幹線の運行について直接JRに働きかけていく。

◆新産業団地調査費について

Q 小松市の未来に向けてどんな企業を想定し、新たな産業団地の候補地選びをするのか。県外の大学に行っている、本社機能を有する大型企業等を誘致すれば地元で働く場があり、帰ってくる好循環が生まれる。

A 白山市等に企業が多く進出し、求人しても人が集まりにくい状況である。人の奪い合いではなく、能美、白山、加賀と連携し、県外、都会から人を呼び込むため企業誘致を進める。

◆いまつの未来◆



吉田寛治 委員



動画でチェック

◆未来型図書館づくり推進費

Q 老朽化の課題を抱える公共施設や駐車場整備に、どのように取り組んでいくのか。

A 公共施設の集約、再編や施設規模等の検討と併せ、駐車場についても事業者ヒアリングなどを通して、その在り方を検討していきたい。

Q 紙おむつのリサイクルのための回収について。

A リサイクルの可能性について、先進自治体の事例などを研究してまいりたい。

◆病児保育推進費及び病後児・体調不良児保育費

Q 現状と子育て環境の充実について。

A 病児保育は2か所開設。体調不良児保育、病後児保育は各々16か所、4か所のこども園等で実施。令和5年度は、新たに一時預かり保育を行う園への支援を行う。



二木攻 委員



動画でチェック

◆加賀立国1200年祭開催費

Q 事業の全体像について。

A 全国国府サミットや特別展の開催のほか駅周辺等での各種PRイベントを実施する。

Q 関連施設の整備内容とオープン時期について。

A 既存資料館を加賀国府ものがたり館として7月オープンに向けてリニューアルするほか、古府町に（仮称）府南山歴史公園を10月オープンに向け整備している。

Q 小松能美連携の取組とは。

A 遺跡のスタンパリー等のイベント開催やPRグッズ・遺跡マップ作成などを行っている。

Q 歴史・伝統・文化を大切にしたい人・まちづくりを。

A 小松が加賀国の中心だったことを市民に周知し、ふるさとの誇りとして、地域の活性化につなげ次代へ歴史資産を受け継ぐ機運の機会としたい。

◆看護師等修学資金貸付金

Q 目的と内容について。

A 看護師等の人材確保を目的に、養成施設に在学中で資格取得後市民病院に勤務を希望する方に、学費相当額の修学資金を貸与するもの。

Q 看護師不足対応策について。

A 看護学生就職セミナーへの参加や病院情報の発信、病院見学会の実施など職員の確保に努めている。

◆無会派◆



木下裕介 委員



動画でチェック

◆学校給食無償化推進費について

Q 財源捻出の為、10の見直し内容を提示したが、重視した点は。

A ICTの活用や公共施設マネジメントの推進、働き方改革の取組で、1億円の効果を得た。

Q 財源確保に向けた考えは。

A 事務事業の見直しと共に、市税収入を上げていく取組を根幹に据えていきたい。



片山瞬次郎 委員



動画でチェック

◆東部地区防災活動拠点整備費

Q 十分な面積の確保は。

A 総敷地面積約2、800平米。防災活動拠点の各種機能拡充を図る上で十分な大きさである。ドクターヘリ・消防防災ヘリの離着陸場としての基準をクリアしている。

Q 防災活動拠点の整備の将来的ビジョンについて。

A 昨年の大雨災害を教訓とすることが大事だと思っている。記憶の新しいうちに様々なことに取り組んでいきたい。

常任委員会 審査報告

予算決算

委員長 高野哲郎
副委員長 川崎順次
全議員所属

議案第1号 令和5年度小松市一般会計予算について

防災体制強化費(48,800千円)

避難所にある食料品等備蓄品の定期更新や要配慮者向け用品の整備、ハザードマップの更新、被災者支援システム導入等に係る費用です。

新ハザードマップの周知には、SNS等を活用して危険箇所の確認を促すなど、災害意識の向上に努めるよう求める意見がありました。

新幹線小松駅開業プロモーション費(102,000千円)

首都圏等での広告宣伝、楽天イーグルス冠協賛デー、空港・駅周辺での新幹線開業の機運醸成、能美市・加賀市と連携した魅力発信プロモーション等にかかる費用です。

県や関係市との更なる広域連携や連携強化を求めました。

地域交通推進費(98,000千円)

コミュニティバスや松東地区乗合タクシー運行に係る業務委託料、生活路線バス12路線の運行補助に係る費用です。車両の小型化や次世代型車両の推進などを業者に提案し、助成費軽減に取り組んでほしいという意見がありました。また、松東地区乗合タクシー利用者の意見を聞き、利便性の向上につなげて欲しいという意見がありました。

収納率向上対策費(6,600千円)

市税のほか介護保険料や後期高齢者医療保険料の収納状況を一元的に管理できる滞納整理システム導入に係る費用です。一部の委員からは、税の徴収強化につながる可能性がある一方で、反対する意見がありました。一方で、収納率の向上に努めてほしいと強く求める意見がありました。

療養料の収納状況を一元的に管理できる滞納整理システム導入に係る費用です。一部の委員からは、税の徴収強化につながる可能性がある一方で、反対する意見がありました。一方で、収納率の向上に努めてほしいと強く求める意見がありました。

消防資機材整備費(22,000千円)

水難救助用や土砂災害活動用の資機材を整備する費用です。

消防隊員の業務に必要な資機材や日常使う装備品等のさらなる充実を求める意見がありました。

東部地区防災活動拠点整備費(91,000千円)

中消防署東出張所西側の指定緊急避難場所を機能アップさせる費用です。整備により様々な災害に対応できることとなります。

ファミリーサポートセンター運営費(4,000千円)

子育てを手伝ってほしい人と手伝いができる人の橋渡しを行う費用です。

支援の必要な方が潜在的に多くいると考えられることから、事業の継続とより一層の普及を望む意見が出されました。

地域連携型子ども食堂支援費(2,000千円)

こども食堂の開設や経費を補助する費用です。

こども食堂の規模や人数により経費が異なるため、段階的な補助額としてはどうかという意見が出されました。また、こども食堂でのイベント等について支援が必要な方に繋げることができるような手だてを求める意見がありました。

学校給食無償化推進費(471,100千円)

無償化の対象を小・中学校全学年に

拡大するためのものです。小学生1人あたり年間51,900円、中学生1人当たり年間64,300円の負担軽減になります。

合併処理浄化槽等設置補助金(9,900千円)

合併処理浄化槽への転換に対する浄化槽設置補助金や雨水貯留施設等の設置に対する補助金です。

雨水貯留設置のメリットを広くPRし、制度の利用促進につなげてほしいとの意見がありました。

末広体育館改修費(32,000千円)

60年経過した末広体育館の大規模改修に向けた実施設計に係る費用です。

スポーツ施設の在り方に影響することから、こまつドームの利活用提案調査について、早急に検討するよう求める意見がありました。

新産業団地調査費(100,000千円)

次期産業団地整備に向けた事前調査費です。

新しい産業団地の造成を進め、雇用の確保にも努めていくよう求める意見がありました。

収入保険加入促進事業費(4,400千円)

収入保険への加入を促進し、農業者の費用負担軽減や収入安定を図る事業費です。

農業者所得の安定化と持続可能な農業のため、制度の周知を求める意見がありました。

ごみ減量化・リサイクル推進費(76,000千円)

新指定ごみ袋の販売、ごみ集積場・生ごみ処理機等設置補助金などに係る

費用です。

紙おむつ減量化のため、広域でのリサイクル推進を求める意見がありました。

消雪施設設備費(126,700千円)

消雪施設の施設・更新に係る費用です。

消雪施設の施設については、多くの要望が聞かれることから、計画的な実施を求めました。

照明灯LED化推進費(道路83,450千円・公園39,270千円・債務負担行為107,220千円)

道路や公園にある照明灯のLED化と管理を民間委託するための費用です。民間委託に際しては、地元事業者の育成と支援を求める意見がありました。

議案第10号 令和4年度小松市一般会計補正予算(第11号)について

生活応援プレミアム付商品券発行費(678,700千円)

プレミアム率30%の小松市プレミアム付商品券5万冊の発行費です。

多くの希望者がスムーズに購入できるように、販売場所などを広く周知してほしいとの意見がありました。

議案第27号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について

6月1日からコンビニエンスストアでマイナンバーカードを使用して証明書を取得する場合の手数料を100円引き下げる等、所要の改正を行うものです。市役所のマルチコピー機でも同様の金額となるが、操作が不慣れな方のため、職員による親切丁寧なサポートを求めました。また、コンビニエンスストアの事業主に対しても制度の案内、簡単な操作方法等の周知を求める意見がありました。

総務企画							
〃	〃	〃	〃	委員 員	副 委員 長	委 員 長	
灰田	橋本	梅田	吉村	東	二木	新田	
昌典	米子	利和	範明	浩一		寛之	

■議案第42号 財産の譲渡について

現在、施設を利用している地元団体等と代替先等を調整中とのことです。十分協議しながら進めて欲しいと求める意見がありました。

昨年12月16日に国で閣議決定された「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」について、撤回を求める意見書の採択を求めるものであります。

昨今のロシアによるウクライナ侵攻等の社会情勢を鑑み、国家の安全保障や専守防衛の観点等から非常に重要な事項であり、賛成少数で不採択とすべきと決した次第であります。

令和6年3月から生活保護制度における被保護者はマイナンバーカードを利用して医療機関等を受診できることとなりますが、現行法では日本国籍がある者のみ適用となっているため、外国人においても同様に対

福祉文教						
表	宮	出	高	木	竹	杉
西	戸	野	下	田	林	
靖	健	清	哲	裕	良	憲
二	吉	克	郎	介	平	治

■議案第21号 小松市学校給食条例について

これまで学校給食会が担ってきた食材選定や食材調達などの業務について、今後どのような体制になるのかと心配する意見がありました。

■議案第24号 小松市看護師等修学資金貸与条例について

小松市民病院における看護師等の確保等を図るため、看護師等の養成学校に在学する学生に対し修学資金

社会的な就労意識の変化や就業形態の多様化などもあり、看護師等の確保は困難な状況ではあります。引き続き看護師等の確保のための取組を期待するものであります。

新年度より「こども家庭部」を新設し、母子保健を含むこども政策を一元的に推進していくものです。

こども家庭部は子育て支援課、子育て環境課、すこやかセンターの3課で編成されるところですが、子育て支援課と子育て環境課の名称について、市民には担当分野が分かりにくいのではないかという意見が出されましたが、課の配置は近接した場所とする予定であり、連携して丁寧に対応していくとのことです。また、新設の部であり、しっかりとした人員体制となるよう望む意見がありました。